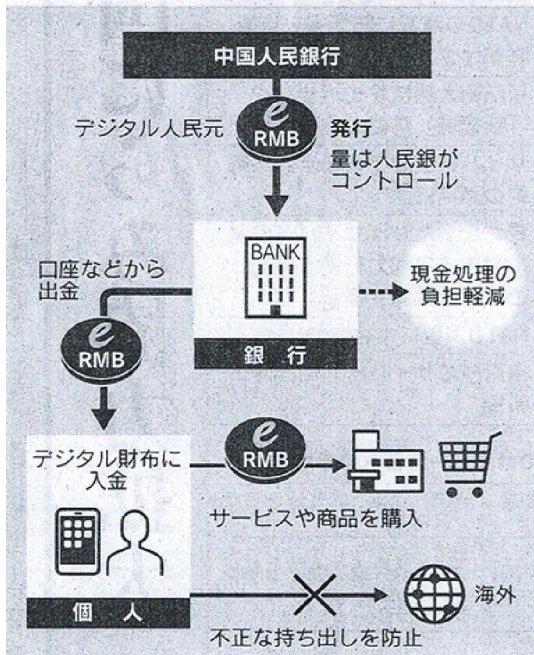


- 12/03・デジタル人民元発効視野 国内優先、決済を監視 中国、主要国で初 < 1 >
資本流出防ぐ 「リブラ」の脅威に先手 国際化、道は険しく
- ・米艦船の香港寄港禁止 中国、人権法に報復措置
 - ・米、仏製品に制裁関税案 デジタル課税に対抗 チーズなど63品目
 - ・米、ブラジル鉄鋼に関税 トランプ氏 南米通貨安に不満
 - ・経済対策13兆円規模 全小中学生にIT端末 4年で
- 12/04・中国、新エネ車25%に EVやPHV 25年目標上げ 日本勢に対応迫る < 2 >
- ・ブラジル0.6%成長 (7-9月) 消費堅調 対中大豆輸出は急減
 - ・日米貿易協定国会承認 来月発効 牛肉など関税下げ デジタル協定も承認 < 3 >
 - ・米中合意「大統領選後でも」 トランプ氏、中国けん制 NY株、280ドル安
 - ・トランプ氏、北朝鮮けん制 軍事力行使に再言及
北朝鮮「下旬に重大決定」 核問題巡り緊張局面
- 12/05・世界新車販売1%減 来年予測 中国景気減速響く 3年連続減
- ・米住宅ローン残高最高 低金利、借り手の信用力も改善 家計債務膨張リスクに
- 12/06・米大統領 弾劾手続きへ 米下院議長表明 月内にも採決
- ・仏デモ、80万人に拡大 年金改革に抗議 一部暴徒化、ストも
 - ・ファーウェイ 米と対決姿勢鮮明に 制裁巡り再び米連邦高裁に提訴
 - ・消費支出10月5.1%減 前回増税時 (14年4月4.6%減) より下げ幅大 < 4 >
 - ・米中貿易、10月しばむ 米赤字は0.8%減 追加関税響く
対中輸入4.8%減 対中輸出は17%減
 - ・EU財務相理事会「リブラ発行認めず」 リスク対応懸念
- 12/07・減産50万バレル拡大で合意 OPEC・非加盟国 価格下支え狙う
- ・米雇用11月26万人増 市場予測 (約19万人) 大きく上回る
FRB、利下げ休止へ
 - ・中国、米産大豆、豚肉の追加関税免除を継続 米側に配慮
 - ・NY株337ドル高 2カ月ぶり上げ幅
 - ・バイデン氏、有権者に暴言 ウクライナ疑惑巡り 集会で「大嘘つき」
- 12/08・WTO、機能不全の危機 10日に任期切れ 委員不足に 審理中の紛争、過去最多
- 12/09・北朝鮮「重大な実験した」 ICBMエンジン実験か
- ・トランプ氏、「敵意示せばすべて失う」挑発自制促す
 - ・経常黒字38%増 10月、輸入減で貿易収支が黒字化 < 5 >

<1>

デジタル人民元は中銀が金融機関に発行

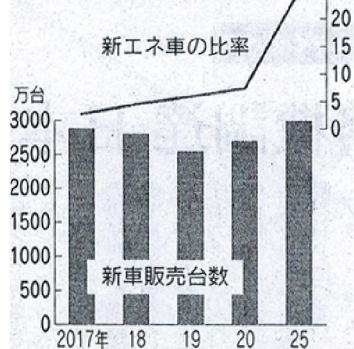


<2>

新エネルギー車の産業発展計画の骨子

2025年
◦新エネルギー車の比率を25%に高める
◦特定地域での自動運転を実現
2035年
◦水素を燃料とする燃料電池車の商業ベースの普及
◦車載電池の技術で重要なブレークスルーを実現

中国の新車販売は高水準で推移する



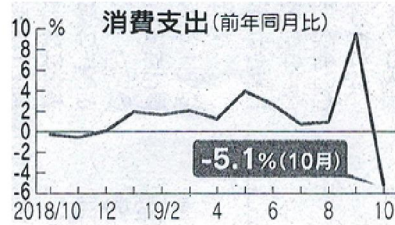
(注) 中国汽車工業協会の発表や政府計画などから作成。2019年は見直し、20年以降は予想

<3>

日米貿易協定・デジタル貿易協定のポイント

貿易協定 (米国→日本)	牛肉関税は38.5%を2033年度に9%に
	豚肉関税は高額品が4.3%から2027年度にゼロに
	ワインは7年目にゼロに
同 (日本→米国)	コメの無関税枠は導入せず
	自動車・自動車部品の関税撤廃は事実上、継続協議に エアコン部品は1.4%の関税を即時撤廃
デジタル貿易協定	企業情報を秘匿するための暗号は国の開示要求を禁止

<4>



<5>

10月の国際収支

(単位億円、カッコ内は前年同月比%、▲は赤字または減少)

▽経常収支	18,168
貿易・サービス収支	1,545
貿易収支	2,540
輸出	65,399
	(▲7.9)
輸入	62,859
	(▲15.3)
サービス収支	▲995
旅行収支	2,035
知的財産権等使用料	1,400
第1次所得収支	17,775
第2次所得収支	▲1,151
▽資本移転等収支	▲454
▽金融収支	8,799
▽誤差脱漏	▲8,915